# 新型コロナウイルス感染症対応
# 地方創生臨時交付金活用事業

市では、令和２年度から引き続いて国から交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染症拡大の防止対策、市民生活支援、事業者支援、地域経済の回復、新しい生活様式の推進のための取り組み等を進めています。令和4年度は地域電子マネーkamicaのポイント付与や営業時間短縮要請協力金など、市民の皆さんや事業者の皆さんを支援する取り組みを行っています。

## 香美市計画総額（令和４年度）　4億3,696万円

（令和４年９月末現在）

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金…『新型コロナウイルス感染症緊急経済対策』において、新型コロナウイルスの感染拡大の防止対策をするとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、国の予算で設立されました。地方公共団体は、地域の実情に応じてきめ細やかな事業を実施することができます。
（香美市への交付限度額：３億８,４０６万）

### ＜新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した主な取り組み＞

| 事業名 | 事業の概要 | 給付額等（予定） | 問い合わせ先（担当課） |
| --- | --- | --- | --- |
| ICT推進活動事業費補助金 | 本市の行政サービス情報を簡単に収集できる環境整備を目指すため、高知工科大学と取り組むAIチャットボット導入等の活動に対する補助金 | 総事業費 250万円 | 企画財政課 ☎53−3114 |
| 香美市収入保険制度支援対策事業 | 高知県農業共済組合が取り扱う農業者向け収入保険の保険料（掛捨て部分）の一部補助 | １／２補助 上限１０万円 | 農林課 ☎53−1062 |
| サテライトオフィス等設置促進事業費補助金 | 雇用機会拡大と産業振興のためのサテライトオフィス等の設置を支援する補助金 | １事業者につき 上限９９５万円 | 商工観光課 ☎53−1084 |
| 香美市キャッシュレス利用促進事業費(通常分) | 市民に対する香美市地域限定電子マネーカード「kamica（カミカ）」への現金チャージに伴うポイントの付与 | １人につき 上限2万ポイント | |
| 修学旅行キャンセル料支援事業 | 新型コロナウイルス感染拡大等により中止や延期となった小中学校の修学旅行のキャンセル料相当額の補助 | 全額 | 教育振興課 ☎53−1081 |
| おでかけ図書館号整備事業 | コロナ禍における外出自粛等により、図書館を利用することが困難な方のための移動図書館車による各施設等への巡回 | 総事業費 147万円 | 図書館 ☎53−0301 |
| 学校保健特別対策事業費補助金 | 市内小中学校における感染予防対策のための備品及び消耗品の購入 | 総事業費 220万円 | 教育振興課 ☎53−1081 |

上記事業のほか、市役所や消防署における感染予防対策事業などを昨年度に引き続き実施しています。給付要件等の詳しい事業内容については担当課へお問い合わせください。



# 香美市文芸 風の流れ

◆一般投稿作品◆　　岡崎桜雲　選

船入れや秋近くして水とうとう　西野地　薫
星月夜母の農衣の滴落(しづく)つ　山﨑　貴子
秋深し言葉の重きデイの友　荒木　景子
やさしさも強さも秘めて秋桜　中村　定子
喧嘩して仲直りした幼き日　岡本　初美
彼岸花真赤の中に白ぽつり　五百蔵利美
ふるさとの転んだ野辺に彼岸花　原　茂
虫の音や明日より台風接近と　伊藤　清子
秋気澄む小川のほとり朝散歩　古川　信子
台風の幕間(あい)に鳴く蝉ばやし　森本多賀子
コスモスの迷路に友の影さがす　利根　弘子
廃屋に夜店の灯り秋海棠(しゅうかいどう)　森本　幸美
庭草引く背に八月の月明し　小原　子川
舞いおちる落葉の下で笑顔咲く　近藤　純加
親子して鎮守に団栗拾ひをり　大場比奈子
振り回す男(お)の子の無心庭花火　秋　星
北山に風車は見えず虎落笛(もがりぶえ)　井上　佐和
水牛にゆられて巡る島の秋　東　月
蜜を吸う鳥山茶花(さざんか)に逆さまに　溝渕　龍泉
洗濯物取り込む時の夏帽子　吉川　恵樹
月清(さや)か車椅子おす兄妹　小松　美鶴
遠花火音に急かるる厨事(くりやごと)　秋山　英身
ジェット機の爆音揺れる月見草　茂野　光正
湯上りの体を撫でる秋の風　原　恭子

◆かほく俳句会◆

夕鵙(ゆうもず)の猛りひだるさつのりけり　乾　真紀子
新高梨むきてヘルパーさんを呼ぶ　岡本　敏子
台風過我と庭掃く影法師　小松　昇
引籠る総身に沁みる津蟹(つがに)汁　佐竹　洋子
秋深し句作のときのいとほしや　津田吾燈人
食堂は出入り自由小鳥来る　野村　里史
秋夕焼捨田の草に燃えつきぬ　前田　智
桐一葉友の余命とわが余生　宮崎ただし
穏やかに独り百姓草の花　宗石　愛喜
秋声やひとりぼつちが二人ゐる　森本　之子
窓枠の景色の端の秋の薔薇　山崎かずみ
傘寿(さんじゅ)までそよそよ生きて草の花　山﨑　鈴子
六才の孫の絵手紙敬老日　山中　明石
体育の日のコルセットきつく締め　杉山　春萌

### 今月のキラリ　　広報委員会

**ふるさとの転んだ野辺に彼岸花**

盆休みに帰郷されていたのかも知れない。ひさしぶりに、ふるさとの山すその傾斜地を、懐かしい思いで歩いていると、赤い彼岸花が咲いていた。彼岸花を見るなり、鮮明にそこはよく転んで遊んでいた場所である事を思い出だした作者。なつかしく、かけがえのない場所が、今も在る事の幸せを改めて感じさせてくれる、郷愁を誘う一句。

**親子して鎮守に団栗拾ひをり**

氏神様の杜(もり)で団栗を拾う親子。どんな話しをしながら拾ったのでしょう。もしかしたら、団栗で独楽ややじろべえ等を作って、遊んだ話をしたのでしょうか。このお子さんも、きっと大きくなったら自分の子供と一緒に、団栗を拾う事でしょう。一緒に遊び伝える事の大切さを教えてくれる、心があたたかくなる一句。

### 俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の１日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782−８５０１（住所記載不要）FAX53・５９５８